

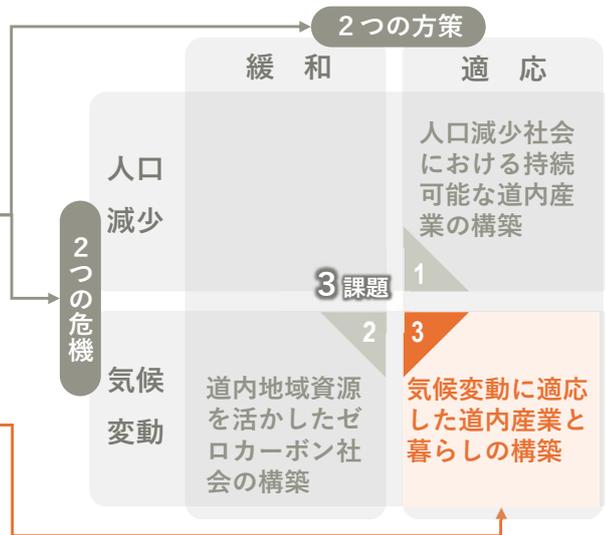
3 気候変動に適応した道内産業と暮らしの構築 I - 気候変動データベース構築と2050年以降の 農林業等への影響予測および適応策 -

【第4期戦略研究のねらい】

- 本道が中長期的に直面し、かつ社会へ大きな影響を及ぼす2つの危機「人口減少」「気候変動」に対して、「緩和」「適応」の2つの方策の視点から、3つの課題に戦略的に取り組む。

【本研究課題の目的】

- 「気候変動」に対して「適応策」という視点から、2050年以降を目標とするゼロカーボン時代において想定される気候変動を描き出し、道内農林業や森林環境に対する影響を評価することで、課題と適応策を提示する。



担当試験場 中央農業試験場、十勝農業試験場、北見農業試験場、畜産試験場、林業試験場、エネルギー・環境・地質研究所
共同研究機関 千葉大学、北海道大学

実施内容 2050年以降に想定される北海道の農林業における生育・収量・品質、適地変化等を予測するとともに、森林における冠雪害や生物害、海岸林へのリスクを評価し、課題とその適応策を提示する。

気候変動による被害リスクの顕在化・拡大の懸念

米の白濁

てん菜 褐斑病

ナラ枯れ

海岸環境の変化 (海岸侵食等)

②道内主要農作物への影響予測および適応策

- 稲作、畑作（小麦、大豆、小豆、ばれいしょ、てんさい）、飼料作（飼料用とうもろこし）に及ぼす影響予測と適応策の提示
- 果樹作（りんご）に及ぼす影響予測

気候変動の影響や被害リスクを予測・評価し、適応策を提示する

①2050および2070年代を見据えた気候変動データベースの構築

- 気象等の予測データに関するデータベース整備
- 気象等の予測データの選定・加工・検証

気温
降水量
日射量
降雪
積雪
海面水位
etc

③気候変動に適応する北海道林業の構築

- 主要造林樹種の成長量評価と気候変動下における生育適地の判別
- 優良遺伝資源選定に向けた気候変動に対する樹木の成長応答とその生理的要因の解明

④気候変動による森林被害リスクの評価と適応策

- 冠雪害リスク把握に向けた樹冠着雪量推定手法の開発
- 生物害リスクの評価と要注意地域の提示
- 海岸環境の変化に伴う海岸林への影響評価と適応策の提示

期待される成果 ◎農林業における気候変動の影響予測と適応策が提示される。
◎気象害（高温・冠雪）、生物害（虫害・獣害）、海岸侵食リスク等の影響評価が示される。

活用策 ◎行政および関係機関における施策等への反映
◎農業生産や森林管理の現場における気候変動の適応策として活用

